

北陸新幹線敦賀・新大阪間の整備に関する意見書

整備新幹線の建設は、国内の地域間交流圏を著しく拡大させ、沿線地域の産業、経済の発展等の地域活性化に大きく寄与するだけでなく、我が国の経済全体の活性化や国土の均衡ある発展を図る国家プロジェクトである。その中でも北陸新幹線は、大規模災害時においては東海道新幹線の代替補完機能を有するとともに、日本海側国土軸の形成に必要不可欠なものである。

しかし、概算事業費が当初試算から大きく膨らみ、工期も15年から最長28年に伸びることが国土交通省から報告され、当初の着工に係る前提条件に大幅な変更が生じている。

府民からは、京都市の地下水や建設発生土の運搬に伴う生活環境への影響のほか、中北部地域では、京都丹波高原国定公園の自然環境、芦生の森などの水源地などへの影響、南部地域では、車両基地の建設、明かり区間の用地買収などによる生活や農産業への影響について懸念の声がある。

については、京都府民が納得を得られるよう国において説明責任を果たされるとともに、京都府民が負担に見合った受益を享受でき、京都府にとって最適な事業となるよう、今後、次の事項に配慮の上、慎重に進められたい。

- 1 京都丹波高原国定公園への影響とトンネルが縦断することによる由良川水源地に与える影響
- 2 大量に発生する建設発生土の処分地確保と運搬
- 3 地下トンネル工事が京都の地下水の水量と水質に与える影響
- 4 京都駅周辺の駅部工事期間中の交通渋滞等
- 5 京都の文化・歴史的建造物や茶道などの伝統文化等への影響
- 6 車両基地予定地域の治水への影響

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年12月19日

衆議院議長	額	賀	福志郎	殿
参議院議長	関	口	昌一	殿
内閣総理大臣	石	破	茂	殿
総務大臣	村	上	誠一郎	殿
財務大臣	加	藤	勝信	殿
国土交通大臣	中	野	洋昌	殿
内閣官房長官	林		芳正	殿
内閣府特命担当大臣	(地方創生)			
	伊	東	良孝	殿

京都府議会議長 石田宗久